

■欧州：バルカン地方で電力取引統合の動き

2017年4月5日の現地報道によると、Western Balkan 6 (WB6) が初となるモニタリングレポート『WB6 Electricity Monitoring Report』を発行した。WB6はバルカン地方を中心に電力取引市場を統合する動きで、2015年オーストリアのウィーンでの会合、2016年4月MoU締結を経て発足し、2018年7月の取引開始を目指している。各国はスポット市場や需給調整市場などの整備が求められており、レポートによると、2016年2月に電力取引所 SEEPEX を開始したセルビアでの対応が進む一方、ボスニア・ヘルツェゴビナやマケドニアでの対応の遅れが指摘されている。また、アルバニアでは電気事業法の改正に必要な決定が未実施となっていると指摘されている。2017年7月にはイタリアのトリエステで全体会合が開かれる予定であり、今回のレポートはその準備資料となる。